

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

高等学校課 (内線：7786)

5目 教育振興費

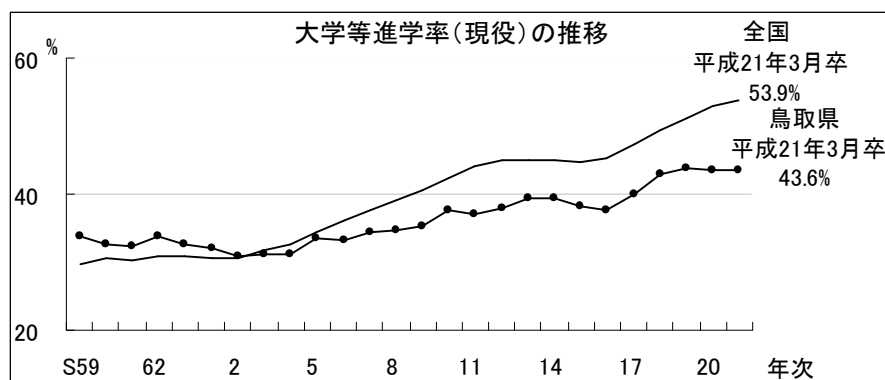
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【とっとり人財育成プロジェクト】次世代改革高校生学力向上推進事業(再掲)	21,467	15,795	5,672				21,467	
トータルコスト	37,603千円 (前年度28,223千円) [正職員：2.0人]							
主な業務内容	研修企画・実施、指導助言・連絡調整、教職員派遣、生徒引率							
工程表の政策目標(指標)	児童生徒の目的意識の育成、進路実現に向けて一人ひとりの学力を伸ばす教育、教員の資質や指導力・授業力の向上(大学等進学率：50%)							

事業内容の説明

1 事業の概要

学校間の連携を深め、生徒がお互いに切磋琢磨し合う機会を設けるとともに、教員同士が切磋琢磨し合い、教科指導力を向上させることにより、進路実現に向けて学力を向上させ、夢や希望に向かって果敢にチャレンジする意欲・態度を育成する。



2 事業の内容

(1) 教科指導力向上事業

(単位：千円)

事業	予算額	内容
予備校や先進校への派遣	8,332	研究会や授業に参加し、優れた進学指導等に学ぶため、予備校、大学、先進校へ派遣(19校)
予備校教員による県内での研修会	3,900	予備校教員を招聘し、講習会を開催 国語、数学、英語を各2日間
県外先進校での教科指導・学校運営研修	471	県外先進校(5校)へ1週間程度派遣
(新) 県外教員との授業実践・研究交流	720	優れた授業実践を行っている県外教員を招き、授業研究、研究協議を実施 (国語、数学、英語×3)
(新) エキスパート教員の育成	2,000	授業改善に意欲の高い教員に対して、県内外のエキスパート教員による教科指導や授業研究を実施

事業	予算額	内容
(新) 県内企業に対する教員の理解促進	450	教員が県内の企業を訪問し、優れた技術力や世界的なシェアを誇る企業の実情に理解を深め、生徒学習意欲の向上を促進する。

(2) 学力向上チャレンジ事業

(単位：千円)

事業	予算額	内容
難関大学を目指す生徒のための合同勉強合宿(1、2年生)	3,070	複数の高校の1、2年生が学校の枠を超え、合同で勉強合宿を行い、講義等を通じて、切磋琢磨しあい、学力の向上を図る。 (新) 1年生(2泊3日)、2年生(3泊4日)
(新) 課題研究発表会(理・数)	205	県内高校生による理数系の優秀研究の発表会を開催 ※留学支援事業対応 優秀者2名の海外派遣 [米国バーモント州、フィールドワーク]
(新) 英語弁論大会	330	県内高校生の英語による弁論大会を開催 ※留学支援事業対応 優秀者2名の海外派遣 [オーストラリア 語学学校]
(新) 高校生留学支援	1,240	留学説明会、留学経験者との交流会を実施し、必要な情報提供を行う。 課題研究発表会・英語弁論大会の優秀者を海外に派遣し、英語力や課題解決能力、学習意欲の一層の伸長を図る。(各2名)

(3) 生徒の進路意識向上事業

(単位：千円)

事業	予算額	内容
進路選択のための大学・企業研修	学校裁量 予算額で	生徒が、大学や企業等へ出かけての研修を実施する。
進路講演会	対応	生徒を対象に、最新の進路情報に関する講演会を実施する。

(4) 保護者への進路情報発信事業

(単位：千円)

事業	予算額	内容
保護者への進路講演会	749	保護者に対して進路に関する最新の情報を発信することにより、生徒の進路実現のための保護者の意識向上を図る。

3 これまでの取組状況、改善点

各学校が学校裁量予算で取り組む学力向上に加え、次世代改革高校生学力向上推進事業として教員の指導力の向上、生徒及び保護者の意識改革等に取り組んできた。

- ・ 県外教員との授業実践・研究交流(6月補正)
- ・ 高校2年生対象の難関大学を目指す生徒のための合同勉強合宿等

取組の成果を踏まえ、本県のエキスパート教員認定者(平成21年度：5人)を増やし、その養成と活用を図りつつ1年生の合同勉強合宿や、新たな取組として理数科の課題研究発表会や、英語の弁論大会を開催してその優秀者に海外での交流の機会を与え国際感覚を身につけさせるなど、より幅広い生徒の進学意欲・学習意欲の向上を図る。